

モエンサイディングに関する評価項目と評価レベル ^{※1}

評価項目		基準	レベル	モエンサイディングとの関係
QH2 長く使い続ける	1. 長寿命に対する基本性能	1.1 躯体	レベル5	モエンサイディングの標準施工法は、外壁通気構法を用いることとしております。この結果、劣化対策(構造躯体等)の等級3に合致します。
		1.2 外壁材	レベル4	サイディングの耐用年数は、25～50年未満の耐用年数が期待されるものとされており、レベル3に該当しますが、加点条件である「外壁材を交換する際に、躯体(又は下地材)を破損しない取り付け方法」に該当する乾式工法が採用されていることから、レベル4とすることができます。
		1.5 火災に備える	レベル5 エクセラード 45分準対応品 モエンM、W、Sは レベル4	モエンエクセラード(60分準対応品)はNPO 法人住宅外装テクニカルセンター(JTC)の60分準耐火構造(外壁)の大臣認定(QF060BE-9225)に合致する外壁仕様とした場合、耐火等級(開口部以外)の等級4に合致します。
		1.5.1 火災に耐える構造		
LRH2 資源を大切に使いゴミを減らす	1. 省資源廃棄物抑制に役立つ材料の採用	レベル3: 0.4 ≤ 評価する取組みにおける得点率 < 0.6 加点条件 外装の過半に既存建築躯体等のリユース材が使用されている場合は、レベル2アップとなる。	レベル3 } レベル5	本項目で評価すべき項目は5項目あり、そのうち外壁材に関わるものは1項目となっています。他の4項目の得点により本項目の評価は異なります。外壁材のみの評価では0.2の得点となりレベル1となりますが、加点条件により外装の過半にモエンを用いることによりレベル2アップとなり最低レベル3に該当します。また他の項目評価によりレベル5とすることも可能となります。
	2. 生産・施工段階における廃棄物削減	生産・加工段階で副産物の発生抑制、リサイクル推進に取り組んでいる構造躯体用部材以外の建材を1つあるいは2つ採用するように設計図書等で指示されているか、実際の取組みが行われている。	レベル4 (レベル5は3つ以上採用)	ニチハは「産業廃棄物広域認定制度」の認定を受けた建材メーカーとなっております。従いましてモエンサイディングを採用するだけでもレベル4とすることが可能です。他に副産物の発生抑制、リサイクル推進に取り組む建材を3つ以上採用する場合はレベル5とすることが可能です。

【注意】 上記の評価レベルは、当社の自己評価による結果であり、(一財)住宅・建築SDGs推進センターが認めたものではありません。また複数の種類の外壁材を組み合わせる場合、レベルが変わることがあります。

■ モエンサイディングに含まれる活用再生材料(リサイクル材)

ニチハ商品名	モエンに使用されている活用再生材料
モエンサイディング-M	古紙パルプ・高炉スラグ・回収端材
モエンサイディングW、モエンエクセラード	木材チップ(間伐材チップなど、古材チップ)・木繊維・回収端材
モエンサイディングS	古紙パルプ・回収端材